

保健サービスへのアクセス改善のための 健康診断ビジネス(SDGsビジネス)調査

国・地域： バングラデシュ人民共和国 ガジブール県

企業： コニカミノルタ株式会社、株式会社 miup

事業概要： コニカミノルタ社：
• カメラ、写真フィルムなどに関わるコア技術をもとに多彩な技術を開発、応用
• ビジネス・ソリューションやヘルスケア、産業用光学システムなど様々な分野の事業を展開

miup社：
• ICTを活用し、途上国の貧困層に対する医療アクセスを改善を目的として設立された東大発ベンチャー企業
• バングラデシュを最初の対象国とし、機械学習や統計学を用いた医療データの分析やサービス開発を強みに、現地医師らと提携して、健康診断ソフトウェアを開発

SDGsに係る現地の課題

3 すべての人に
健康と福祉を



- 食生活や生活習慣に起因する心臓病、糖尿病などの非感染性疾患の増加
- 医療機関・医療人材の不足
- 貧困層の医療費支払い能力不足



企業が有する強み

- X線検査/超音波診断に関する商品・サービスの市場展開・サービス提供実績
- 試験事業を通じた健康診断サービスの需要把握
- バングラ市場向けの健康アプリ/Data baseを開発
- 症状やバイタルデータを分析し、糖尿病や貧血、心疾患等に関する健康状態のスコアリングや将来健康状態の予測
- 医療データにおける機械学習/統計モデル形成

SDGsビジネスの内容



ダッカ近郊において、モバイル医療機器等とICTを活用した遠隔診断に、機械学習技術・AIを組み合わせ、貧困層でも利用可能な安価な健診サービスを展開することで、非感染性疾患による死亡率の減少を目指す